

## 側条処理によるイネミズゾウムシの防除法

農業研究センター 農産園芸研究所 病虫部

### 研究のねらい

イネミズゾウムシは本田初期の主要害虫である。その防除を移植、施肥が同時にできる水稲側条施肥栽培技術の中に導入して、さらに省力化を図る。

### 研究の成果

1. イネミズゾウムシに対するカルタップ水溶剤側条処理は、慣行のカルタップ粒剤育苗箱施用と比べ、成虫の侵入防止及び産卵抑制効果がややまさり、高い防除効果がある。
2. 処理方法は、カルタップ水溶剤(10a 当たり 300g)とペースト肥料を移植直前に混用して、側条施肥田植機で施用する。
3. 処理にあたっては次の点に留意する。
  - (1) 施肥量等は水稲側条施肥基準に準ずる。
  - (2) 作業終了後の機械の洗浄水、農薬の残査等が河川に流入しないようにする。
  - (3) カルタップ粒剤自主規制地域では使用しない。

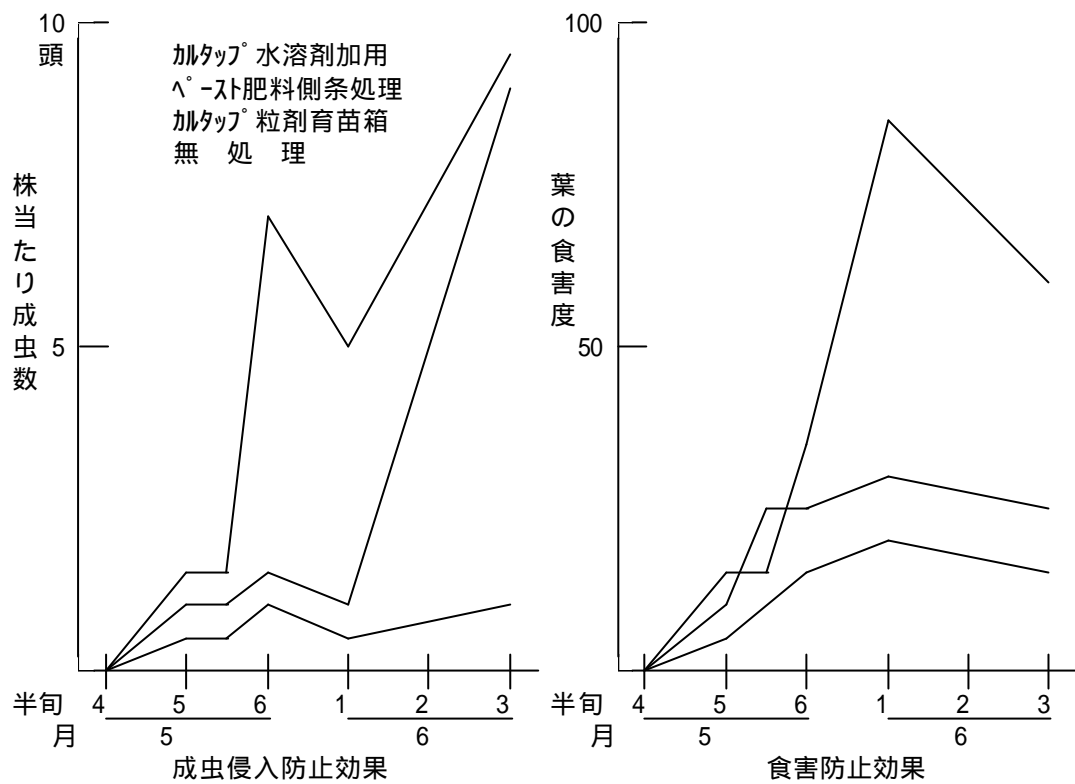


図1 イネミズゾウムシ成虫に対する防除効果

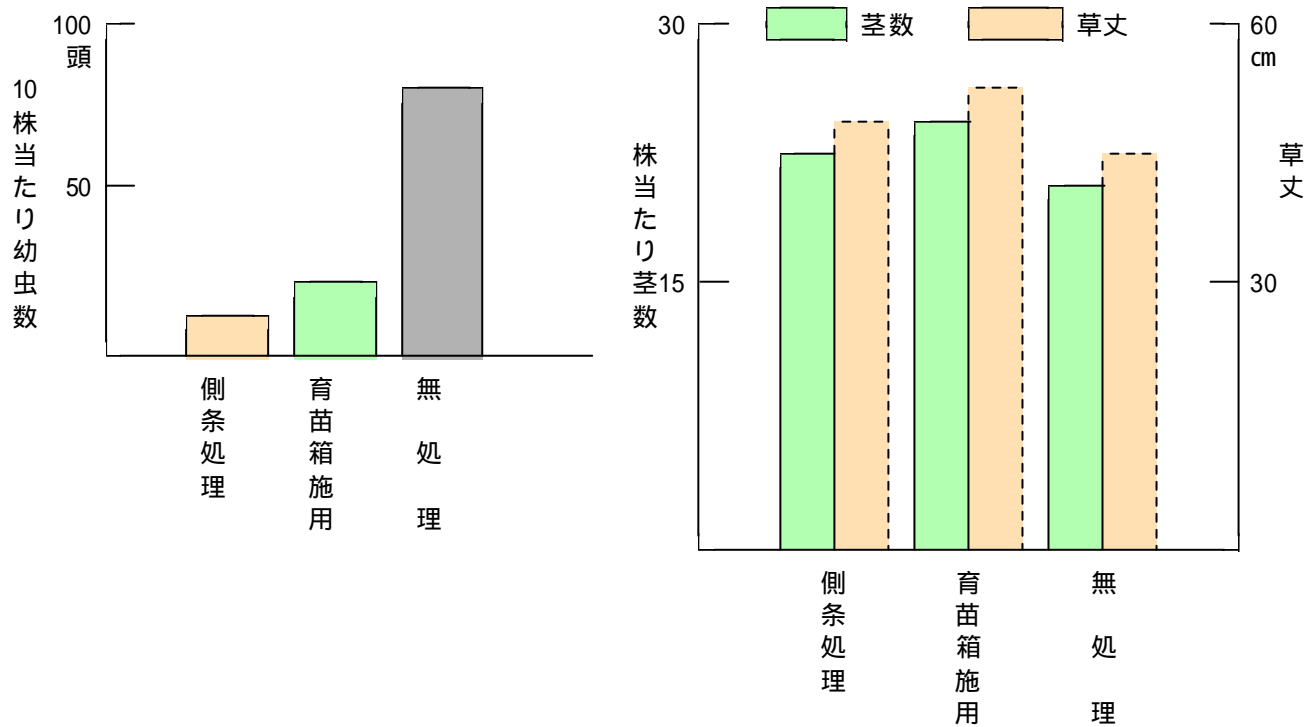


図2 イネミズゾウムシ幼虫に対する防除効果